

まずは水周りの床下湿気対策から

**ブロワー型換気 + 浸水センサー付き
タイマーで新築にもリフォームにも
使いやすい床下換気ベーシッククシシリーズ**

床下換気システムは床下の湿気（木部含水率）を低減させ土台木材の腐朽や強度劣化を防止することを目的としています。すでに1981年発売から40年近く経過しているロングセラー商品である日本の木造住宅には継続して必要とされています。



最低限の予算で安心を提案

ユーザーの意識変化

もともと既築住宅の床下湿気が顕著にみられる物件への取り付けが主でしたが、ここ最近では予防的な意味（クレーム回避）も含めて新築住宅への採用が増加しています。あわせて一般の方もインターネットで手軽に情報を入手できる時代になり、エンドユーザーからの問い合わせ（効果性、価格等）が大きく増えてきており「住まいを長持ちさせたい」「今は大丈夫だが将来的に不安がある」など施主の方々の予防的意識も強くなっています。

同時に、「デフレが長引き経済的に厳しい昨今、ユーザーの予算も圧迫され、本来は床下換気をつけたほうが良いし安心できると理解されつつも予算上シロアリ消毒やリフォームを優先され床下換気システム設置は後回しになるような現場が増えてきているようです。

せつかくの機会を予算のみの理由で諦めることは、長い目で見るとユーザー側の損失にもつながります。高温多湿の気候が原因だけではなく増築による床下内基礎構造の変質、床断熱材追加による結露、水道管・排水管の損壊・結露、また住んでいる方の生活スタイルなどによっても床下の状況は刻々と変わつてくるからです。こう考えると、予算を理由として床下換気の改善を諦めたくはありません。そういう現場の声を参考にして当社では「最低限の予算で安心」できる「床下換気ベーシックシリーズ」をラインナップに加えています。すでに床下の環境劣化が顕著に表れている物件は正規の設置をお勧めしていますが、「今はそこまで床下の換気は悪くなさそうだが、さすがに水周りの床下部分は心配だ」「せつかく消毒やリフォームをしたから湿気の出やすい水周り部分の床下だけでもしっかり換気させておきたい」…



床下換気ベーシックそんな住宅に対し
て「転ばぬ先の杖」として提案しやすいユ
ニットです。水周り床下への設置が基本と
なりますので、水周り部分の床下はいつも
空気の動きが活発になりカビや普及菌の
発生を抑えることに効果があります。
※面積が広かつたり複雑な基礎構造の床
下は換気扇設置箇所以外の床下部分に動
風効果が出にくくなります。1年、3年、
5年点検等で状態をチェックし、もし換気
が不足しているようなときには追加の換
気扇設置をご提案ください。

早く検知し異常を知ら
せていただきます。(換気扇
は運転停止します)



■2018年、2019年の床下・床上浸水被害

2019年	43,177棟以上
2018年	30,385棟以上



ST-301S

(Ver3)
Electronics Timer
With Alarm buzzer

点検をブザー音でお知らせ

「点検」表示

設置後(100V印加時)から5年
経過毎に換気扇およびタイマーの点検時期をお知らせします。

※10年経過以降は点検報知と
運転モードが自動で停止に
なります。

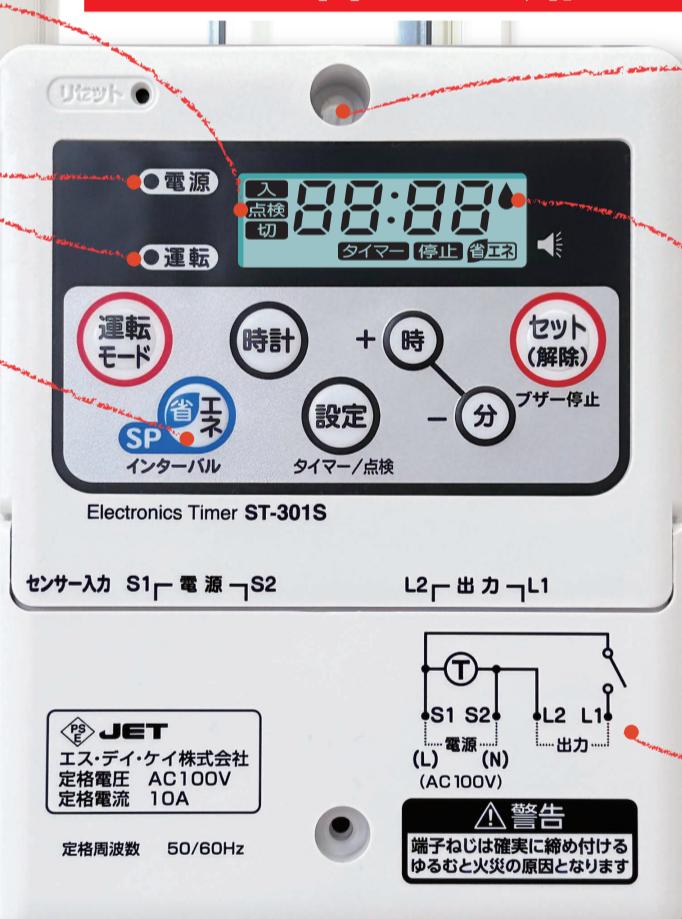
LED点灯で電源と運転
の入・出力確認ができます。

省エネ機能を導入
しました。
ワンタッチで25%の
省エネインターバル運転
※インターバル入・切時間
設定は自由に変更できます。



デジタルタイマーで完全自動運転 床下浸水センサー対応 省エネモード運転

ブザー音でお知らせ機能が追加



・スイッチボックスを利
用しての取り付け可能

タイマー上下のビス穴取り付けピッチ
がスイッチボックスビス穴と同じです。
配線がスッキリ隠れ、特に新築物件・
リフォーム物件におすすめです。

異常をブザーでお知らせ

点検 + 水滴 + Error

浸水検出時、時刻が交互表示し
換気扇を強制停止します。

・正面ならびに背面から
配線が可能

・床下へ薬剤散布時の
浸水センサー誤動作
対応の設定が可能

※浸水センサーの検知開始日を設定
から10日後に遅れて開始します。



増える床下浸水・漏水への安全対策

年々、台風や大雨の被害が拡大しています。これまで安心
だと考えられていた地域でも突然の被害に直面しています。ST-301S タイマーは浸水センサーを装備し、水害に
による床下浸水はもちろん、排水管等の劣化、損傷などによ
る漏水もいち早く検知し異常を知らせてくれ安心です。